

平成22年11月4日

## 22年度第4回 運営推進会議議事録（平成22年10月25日開催）

記録 辻合 鈴木

参加者 消防署 予防課 課長 青山 様  
消防署 予防課  
介護保険福祉課 課長 與田 様  
介護保険福祉係長 笠原 様  
保健師 坪田 様  
内会長 会長 齊藤 様  
町内会 齊藤 様  
親和会女性部 宮崎 様

ご家族 藤野 様

新谷 様

ハッピーおおぬま 辻合・鈴木・田中・黒川・田名部・伊藤

- 辻合 本日はお忙しい中、運営推進会議にお集まり頂きありがとうございます。  
それでは運営推進会議を始めさせていただきます。  
地域の方の協力を得ての避難訓練は今回で2回目なのですが、避難訓練の評価をお願いします。
- 青山様 今回は前回よりスムーズに避難させられたと思います。私は2階をみていたのですが、ベルがなり、まず、火元確認、初期消火を行わなければいけないのですが、残念ながら誘導に焦ってしまったのか、行われていません。今回は階段の避難はなく、2階の屋上への避難でした。実際の火災の時も屋上に一時避難していただければ良いと思っています。  
1階もスムーズに避難されたと思います。ただ、廊下にイスがあり、避難する際少し妨げになるのではと思いましたが、生活されていて必要でしょうから仕方がないですね。
- 青山様 もう1つ感じたことは、利用者さんが火災の放送が流れても自分から逃げようとされず、自室でじっとされているのが気になりました。ご自分で逃げられる方は自力で逃げるように訓練していただければと思うのですが、認知症の病気もあり、難しい事なのでしょうね。
- 鈴木 耳が遠かったり、前の訓練を忘れられるのですが、スタッフも利用者様にとって避難訓練は必要だと思っています。
- 齊藤様 何分で避難できましたか。
- 青山様 6分ですね。駆けつけ役の方が、来るかどうかの時間ですね。駆けつけ役のスタッフはいますか。
- 鈴木 はい。私が駆けつけ役でした。
- 與田様 ここでは、地域の方もホームの避難訓練に参加されているのは素晴らしいですね。国全体を見ても、運営推進会議も行わず、行っても地域の方が参加されていない所がまだまだあるようです。先日、7月21日に厚生労働省が運営審議協議会の中で、これからのグループホームのあり方として、グループホームが地域福祉を引っ張っていくのではなく、地域がグループホ

ームを地域の一員として認識し、積極的に協力していくよう位置づけてくれました。地域に根ざしたグループホームであって欲しいとの思いが込められています。大変でしょうが、地域住民の方にも理解して頂き、何卒、これからもご協力をお願いします。

辻合 すみませんがよろしくをお願いします。

斉藤様 今回で避難訓練に参加するのは2回目なのですが、今回も寒いので、避難誘導は屋内になったのですが、実際になると屋外になるので、外に誘導した事を考えて、下水溝にフタをすることや、道路の交通量、季節に合わせての対策など、屋外にも目を向けて考えてもらいたい。

藤野様 前はスモークを焚いて行い、本当に怖さが伝わりました。視界が悪く、煙で息もできなくなるだろうし、母のことよりスタッフの方が逃げてくださいと思います。先日もテレビでありましたね。火災だけでなく、水害もあり、色々な災害を想定しなくてはいけないのは大変ですよね。

斉藤 立地の良い場所ですよ、此処は。地震や噴火はあるかもしれないが、水害の心配は要らない場所です。

新谷様 火災になると大変です。まず、うちの爺は助からないと思います。皆様に助けられています、動ける方から助けていってください。それよりスタッフの方など、若い方が命を落とすことがあってはいけないと思っています。火事が起こった時より、起こさないようなマニュアルってないのですか。

青山様 マニュアルといっても、一概には言えないですが、火を使うときは傍から離れない。つい、天ぷら油を火にかけたのを忘れて火災になるのが多いです。また、金魚鉢がレンズの役目になって火災が起こるといった、思いも掛けない原因でも火災は起こります。火災になるのにはいろんな悪条件が重なって起こる事が多いですから。

辻合 当ホームでは料理は厨房で行い、ガスを使うことは少なく、煙草を吸われる利用者様もいないので、火災が考えられるのは、電気による漏電等の火災だと思います。火災を起こさない為に、1日2回、コンセントのゴミや、コードの破損やよじれ等、点検を行っています。

田中 毎日2回、点検項目が記載されている用紙でチェックを行っています。

辻合 今回も夜勤者想定でスタッフ各ユニット1名ずつ行いました。役になった者は頭で避難訓練の手順をシュミレーションしていたのですが、開始と同時に舞い上がり、初期消火を忘れてしまいました。訓練ですらパニックになるのに、実際の火災では尚更頭が真っ白になってしまうと思います。体が覚えるぐらい訓練しなくてはと、改めて感じました。

宮崎様 前の避難訓練の時より、利用者さんも落ち着いて避難されていたように思います。顔馴染みになれば、もっとうまく行くのかもと思います。何かあれば駆けつけますので、言ってください。

辻合 本当に助かります。救出した利用者様を見守っていただけるのは、とても安心ですし次の方を救出にいきます。不安になられている利用者様を振り切って、次に行くのは心配です。よろしくをお願いします。

10月1日に七飯町で震災時の避難訓練と救命の研修会がありましたが、宮崎様も参加されていたらしいですね。地域包みの事には参加したいと常々思っていたので良い機会でした。ダミー人形での心臓マッサージを行いました、実際やってみると、なかなかうまく行かないものですね。

與田様 各施設の避難訓練はその施設にあったものですが、一般的に火事の時の誘導の仕方や救命の講習会とか、消防署で行って貰えないでしょうか。うちにも保健師が他にもいるので研修してもらい、また、他の施設で避難訓練も行われていない所もあり、そういった施設に、一緒

に研修して学んでもらいたいと思ひまして。

田中 私どもも、札幌で防火管理者として研修に行った際、寝ている方を布団を利用して脱出させる方法や、手を引くよりも大事な鞆を持ってもらって、それを引っ張っての誘導など、感心するような方法での誘導や、救命の講習などとてもためになる事を学んで来ました。

與田様 札幌の消防署は規模が大きくなって全国でも優秀って言われていますからね。  
青山様 七飯消防署としては誘導としてのマニュアルとかはなく、火事の際の救命を第一にしており、誘導よりも安全な救出、酸素マスクをして耐熱服で火に入る事の訓練を行っているので、人の誘導の仕方は福祉関係者の方がわかっていると思ひます。11月に緑町のハッピードワンIIで行う避難訓練には、人命救出の点から、誘導・救出の手本を、消防署員2名が利用者役・スタッフ役で行うように打ち合わせをしています。その後で、心肺蘇生の実演も考えていますので、役場の方も参加しても良いと思ひますよ。前の避難訓練の時も、他の施設の方が多く見学に来られていたみたいですから。

鈴木 3月に行った、鳴川のハッピードワンでの避難訓練がそうでした。

與田様 避難訓練や研修をやっている所は、このようにズンズン進んで行くのに、やっていない所はいつまでも何もしない。入って居る所により、利用者様の命の安全度が違うのでは困ります。どういった形になるかわかりませんが、避難訓練かそれに替わる研修会等考えていきたいと思ひますので、その時はよろしくお願ひ致します。

辻合 他に何か意見はありませんか

齊藤様 お願ひが1つあります。ここパッピーさんを一次避難所に指定してもらえるように町にお願ひしているのですが、町からハッピーさんにお願ひが来ていますか。

辻合 そのような話は聞いていないですね。

齊藤 そうですね。一時避難所が婦人会館、もしくは大沼中学校となっていますが、この町内会も随分高齢になってきて、歩いて避難所に行ける人は少ない。どうだろう、ハッピーさんの建物は鉄筋で頑丈だし、ここを一時避難所として認めてもらい、町からハッピーさんに頼んで貰えるように計らってもらえないだろうか。

與田様 尋ねてみます。

辻合 私も社長に伺っておきます。

では、次に、9月14日に外部評価の調査がありました。外部評価とは北海道から選定された評価機関を通じ外部の方から評価を受けサービスの質の向上の為に義務つけられているものです。

別紙にあるように、地域の取り組みには大変お褒めを頂きました。皆様のお陰、皆様に支えられて得られた評価だと思ひています。今後ともよろしくお願ひ致します。

何か、質問、意見等ありませんか。

それでは、これで運営推進会議を終わりたいと思ひます。本日は貴重なご意見ありがとうございました。